２０１１年度「未成年者飲酒予防基金」活動報告

信州アディクションセミナー実行委員会
「若者の依存症予防啓発活動」

2011 年 9 月 25 日に、長野県松本市のあがたの森文化会館にて「第 2 回信州アディクションセミナー」を開催しました。

開催プログラム

午前：(講堂)

基調講演　『若者の飲酒の背景にあるもの
～「故意に自分の健康を害する」症候群』

国立精神・神経医療研究センター 医師　松本俊彦　90 分

（思春期の１割は自傷している／飲酒・喫煙・薬物の誘いを受けた経験者が多い／「ダメ。ゼッタイ」だけではダメ／自傷には鎮痛効果がある／自己破壊的行動スペクトラム／懸念を伝える／「もうしない」約束は結ばない／目をそらさずに向き合う！／若者の薬物･アルコール乱用はあらゆる「自分を大切にしないこと」と関係してます／若者は友人に告白する／気づき／かかわり／つなぎ／あなたは信頼できる大人ですか？）

質疑応答 20 分

午後：(講堂および本館各室)

体験発表（講堂）　各アディクションのグループメンバー　12 分×14 団体

（アルプス断酒会、リカバリー・パレード、ギャマノン、ナラノン、依存症からの回復研究会、NABA、ACA、HA、DA、GA、AA、NA、Peerful、SPJ）

分科会（本館各室）　各アディクションのグループ　90 分×15 団体

（AA、DA、NA、ACA、HA、GA、あかりプロジェクト、SPJ、SA 女性クローズド、EA、ACODA、依存症からの回復研究会、ギャマノン、摂食障害合同、ナラノン）

アピールタイム（講堂）　4 団体

通日：

資料配付：

（参加者全員に、基調講演資料、各グループの資料（冊子）などを配布)。

アルコールパッチテスト：

（希望者に、飲酒に対する反応を調べるアルコールパッチテストを実施）

託児：

保育室にて託児を実施（託児数 9)。

手話通訳：

午前中の基調講演には手話通訳を実施。

アンケート：

参加者にアンケートを実施し、93 の回答を得ました（回収率 33%)。

参加者数

参加人数 280 人（資料配付数より）　託児数 9 人。